

「ろうきん運動」の活性化を願う

平成26年7月18日

戦後の1947年～1949年ごろ、インフレや合理化の中で、働く人たちは大変な生活苦に陥っていました。当時の金融機関は、企業のための金融機関であり、働く人たちが利用できる金融機関は存在せず、高利貸しや質屋に頼らざるを得ない状況でした。

このような食糧・住宅難など戦後の深刻な社会背景の中で、自らの手で生活を守る必要性を感じた勤労者たちが、労働運動などの自主的な福祉運動から「ろうきん」は誕生し、全国初の「ろうきん」が岡山「玉野」に誕生しました。

わたしたち労働組合は、「組合員の雇用を守る役割」や「賃金を確保する役割」、「職場環境を改善する役割」、「組合員の生活を守る役割」などさまざまな役割を持ち、職場においても家庭においても、組合員がより豊かに幸せな生活ができるよう、日々団結して活動しています。その中で、「組合員の生活を守る役割」に係る部分を、「ろうきん」なり「全労済」と一緒になってその責を担っているものと考えます。

私の出身単組である玉野市役所職員組合がある玉野が「ろうきん」発祥の地であり、また私自身も地元の「ろうきん」推進幹事として、「ろうきん」の利用を推進しておりますことから、各単組におかれましても、組合活動の一助として積極的に、また有効に活用していただくことを望むところです。

「ろうきん」は、労働組合その他の労働者の団体が協同して組織するもので、わたしたちは利用者であるとともにいわばオーナーでもあります。

「ろうきん」は民間の銀行とは異なり、営利を目的として事業を行っておらず、剰余金を会員であるわたしたち労働組合への配当や、より有利な商品やサービスという形で還元しています。

たとえば、ATMは払戻手数料等が無料で利用できます。他行やコンビニATMを利用しても、後日手数料分が通帳へ還付されるので、「手数料実質0円」で利用できます。

また、マイカーローンや住宅ローンでは、組合員優遇金利が適用される他、住宅ローンでは通常50万以上かかる保証料が無料のうえ繰上返済手数料も無料など、金融の面から組合員の生活をサポートしてくれます。

民間の高利なローンを利用していた組合員が、「ろうきん」で相談することによって、低利な「ろうきん」のローンへ借換を行い、その浮いた資金を財形貯蓄に回すことができ、結果組合員の可処分所得を増やすことができたという話もあります。

組合員の皆さまに是非「ろうきん」のファンになっていただき、皆で「ろうきん運動」を盛り上げることによって、組合員の生活を守ることを願っております。

玉野市役所職員組合 大前和紀

